



坂本あずまお 2018年上半期の政治活動レポートをお届けします

『坂本あずまお区政報告会・2018』を開催

2月14日

2月14日(水)成増アクトホールに於いて『坂本あずまお区政報告会・2018』を開催しました。活動報告内容は、下記のとおりです。

【活動報告内容】

■人の『幸福』と政治について

突然ですが、皆さんは『幸せ』を感じることはありますか？
“幸福の国”といえばブータン国が有名ですが、各種調査によれば人が幸福を感じるには主に以下の3点が重要であるとされています。

(1) 経済社会状況

住居、子育て教育、雇用、社会制度など

(2) 心身の健康

身体的健康、精神的健康

(3) 他との関係性

家族・地域・自然とのコミュニケーション、ライフスタイル

そして、現在これらに共通した問題となってきたのが『孤立感』です。英国では孤独による国家損失が年間約4.9兆円ともされ、孤独担当大臣が設置されるほど社会問題となっています。

■孤立をなくすために

～高齢者福祉の分野～

現在の高齢者福祉の分野では『独り暮らしのお年寄り』の増加(特に男性)が課題となっています。初期認知症の増加、孤独死の増加、介護施設不足、給付制度の限界など、多くの問題を解決するために、以下の点が重要であると考えています。

(1) 健康寿命を延ばす：歯科に注目

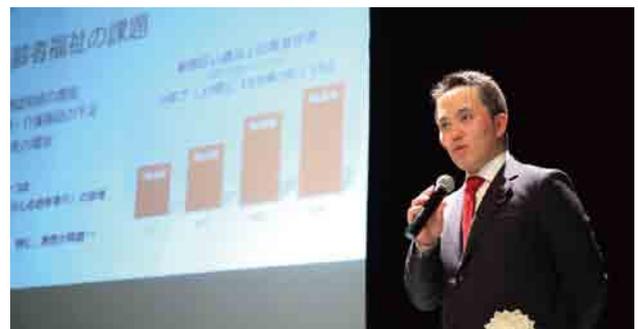
まずは健康に。歯周病は万病の元、歯科診療の拡大は増加し続ける社会保障給付費にも歯止めをかける近道です。

(2) 地域で孤立感をなくす：繋がり

団塊世代が後期高齢者となる2025年問題。その頃に“高齢”にさしかかる現在の55歳～59歳の層の方々が活躍できる、多種多様なイベント企画、広報機能の充実が重要です。既存の町内組織だけでなく、多様なコミュニケーションを見える化していかなければなりません。

(3) 専門職を増やす：コミュニティ・ソーシャルワーカー
孤立感や無縁を包み込む専門家として注目されている職業です。生活が困難な家庭や家族など、支援を必要としている人や地域に対して、地域と人々を結び付けたり、生活支援や公的支援制度の活用を調整する専門職を増やします。■子育て世代・母親の孤立感をなくす
～3歳までのおうち教育サポート～

いつの時代にも子育ての悩みは共通ですが、子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。待機児童対策や施設開設だけでなく、家庭でできる、0～3歳のおうち教育を適切にサポートする必要があります。SNSや育児アプリも仕組みが整ったばかりです。児童館は区内に中学校よりも少ない状況で対応しきれません。育児する母親の『孤立』は子供達のためにも避けなければなりません。



坂本あずまおによる一年間の区政報告の様子



区政報告を真剣に聞き入るオーディエンス

新年度委員会決定

5月

5月22日に行われた第一回板橋区議会臨時会本会議において、平成30年度の所属委員会が決定しました。

■常任委員会

「企画総務委員会 委員」

■特別委員会

「地域包括ケアシステム 理事委員」

第4期目の選挙に向けて 6月

平成31年4月に予定される板橋区議会議員選挙に向けて、自由民主党公認候補の申請をいたしました。地域の声を区政に反映していくため、今後も尽力する所存です。何卒ご支援のほど宜しくお願い致します。ご承知のとおり、来年5月より新年号に変わるため、詳しい日程等はまだ未定です。決まり次第、お知らせいたします。

一般質問

6月

6月4日に行われた板橋区議会第二回定例会一般質問において、あずまおが質問した内容と区長の返答は次のとおりです。

(1) ドローンを活用した施策展開を求めて

【質問①】 産業振興

区内産業としてのドローンの展開の可能性は。また、成長産業として期待が高いドローン産業を区内に定着させるための支援策などを検討してはどうか。

【区長】

区の地場産業である光学など、ものづくり企業の技術を活かした展開が期待できることから、その可能性を探る。区内産業の活性化に資するような取組みを検討する。

【質問②】

現在のドローン業界の課題の一つが操縦技術者の不足である。技術者養成の一助として、ドローンの技術大会の区内開催を検討してはどうか。

【区長】

国内開催の実績などを調査研究するところから、可能性について探る。

【質問③】 魅力発信

区の魅力発信において、新たな視点でよりインパクトのある映像として、また区の移ろい行く姿をアーカイブ化するためにも、活用すべきと考えるが見解は。

【区長】

訴求力のある、魅力的な映像を各課と連携し制作していく中で、新たな視点からの映像が期待できるドローンの活用を検討する。

【質問④】 災害対策

災害時の対策として、消防署など各組織と連携した活用の展開を協議し、災害現場での活用の可能性を検討しては。

【区長】

法的な制約など課題も多いが、今後、技術革新などの状況を見極め、防災対策への活用の可能性を研究する。

(2) 地域課題について問う

【質問①】 跡地活用

都営成増第2アパート除却後の跡地利用は、都に対し地元住民の要望をしっかりと訴え続ける必要がある。協議会などを地域から立ち上げられるよう支援をすべきでは。

【区長】

住民の声や要望を届け、住みやすいまちにつながるものとしたい。他自治体の取組み状況も参考にし検討する。

【質問②】 ローター整備

成増駅北口2階デッキ部と1階ロータリー歩道部は、既設のタイル舗装が老朽化している。さらに、通行しやすい動線の確保や東上線駅舎出口から階段にかけての屋根の設置などの要望がある。これらの修繕計画の状況は。

【区長】

老朽化したタイル舗装は、デッキ本体と合わせた健全度の調査を行い、段階的に補修を行う。歩行者の動線確保や屋根設置の可能性は、構造的な面から調査、検討を進める予定。

【質問③】 地域分断解消

三園と高島平をつなぐ三園陸橋は、車両通行止め状態が続いている。同一学区域内での分断を解消し、地域の交流が一層深まるよう、区を挙げての支援を求めるが見解は。

【区長】

学校・町会関連などのつながりも課題解決に向けた一つの要素として捉え、町会との協議を進める。

以上のほか、庁内データの利活用について(区の現状とIT推進の今後)と、契約のあり方について質問しました。また、過去の質問内容はいたばし区議会だよりや板橋区のホームページでご覧いただけます。

坂本あずまお事務所

≪皆様のご意見お寄せください≫

〒175-0094 板橋区成増4-3-34

TEL:03-6781-0770

FAX:03-6781-0775

E-mail: info@azumao.com

URL <http://www.azumao.com>

FB <http://www.facebook.com/Sakamoto.Azumao>